

産経新聞 2021年4月19日 「ひこばえ倶楽部」への投稿掲載

(令和2年度入学) 高校2年(六か年コース) B組 鎌田 響生 君

電車で毎日通学している。よく考えるのが、優先座席の使われ方である。

優先座席は、高齢者や体の不自由な方、妊婦の方が優先して座る席だ。

しかし、よく目にするのは、元気そうなOLや若い会社員が率先し、何食わぬ顔で座っている光景である。高齢者らが座ろうにも座れない状況だ。

学生ならば制服で学校が特定されるが、会社員は分からない。座り放題だ。

もちろん、空いていれば若者も座ればいいが、席を必要としている方が来たときに譲らないのはどうなのか。

「断られるのでは」と思って言い出せないなら、近くに来る前に席を立てばいい。

席を譲られた方も、恥ずかしさが先立つのか、「自分だけ楽できない」と遠慮しているのか、あまり座らない。

うまく活用できておらず、今の形の優先座席は、本当に必要なのか疑問に思っている。